

審査要旨

常任委員会の審査要旨

総務企画、教育民生、産業建設各常任委員会に付託された議案・報告・請願の審議が行われた。

総務企画常任委員会

議案6件、報告5件、請願4件を審議し、議案及び報告については、全会一致で原案のとおり可決及び承認すべきものと決しました。請願については、

は、請願第2号、第4号、第5号、以上の3件については、賛成少数で、不採択すべきものと決しました。また、継続請願第1号については閉会中もお、審査を継続する必要がありと認め、その旨を議長に申し出ています。なお、意見を2点申し添えます。まず、災害発生時の対応については、先週の豪雨の際には適切に対応していただいたものと思っております。今後

教育民生常任委員会

も、市民の安全を守るため、日頃から関係機関との連携を密にし、更なる迅速、適切な対応をお願いしたい。次に、先の3月定例会においても触れましたが、市有車両の事故がまだまだに後を絶ちません。現在の運転者教育や車両運行管理のあり方を見直し、新たな防止策を講じるなど、事故防止を図っていただきたいと思います。

議案2件、報告5件、請願1件を審議し、議案及び報告については、全会一致で原案のとおり可決及び承認すべきものと決しました。請願については、不採択すべきものと思われ、3点、申し添えます。市民サービスの向上を図る上で、スピード感を持って事業にあたって欲しいと思います。特に幅広く全国にPRしなければならぬ長谷川等伯事業や、

高齢者世帯等の緊急時の不安を解消する事業は、迅速な対応が求められる事業です。次に、教育現場における多忙化についてですが、毎回のようには常任委員会で意見等が出てくるので、更なる努力をお願いしたいと思います。例えば、週に一度は午後7時までには帰るというような努力目標を設定するなどして、少しでも改善していただくようお願いいたします。また、先般市職員が処分を受けた件については、個人の問題ではなく、七尾市に対する信用の失墜にも関わる問題でもあります。今後はこのようなことが二度と起きないように、管理監督の徹底を強化していただきたいと思います。

産業建設常任委員会

すべきものと決しました。請願については、不採択すべきものと決しました。なお、意見を1点、申し添えます。6月18日から20日にかけての梅雨前線豪雨により、道路・河川災害が発生し、市民生活に大きな影響をおよぼしました。また、農業施設や農地の冠水などにより大きな被害がでました。今後も雨の降りやすい天候が続くと思われ、万全の体制で臨んでいただき、市民生活に支障を来さぬよう迅速に対応してほしい。

議案2件、報告5件、請願1件を審議し、議案及び報告については、全会一致で原案のとおり可決



産業建設常任委員会の様子

行政視察報告

総務企画常任委員会視察報告書

総務企画常任委員会は5月22日～24日の日程で、兵庫県相生市、加西市の行政視察を行った。

■空地空家対策事業について (兵庫県相生市)

視察結果

家屋所有者が死亡したり、施設に入居したりして所有者の管理が行われなくなり、空家の老朽化が急速に進んでいる。また、空地空家は「民有地」であることから、行政として民地処分は公費が支出されることには納税者の理解を得にくく、公費返還訴訟を起こされた場合、行政として公判を維持していくことは困難な状況である。相生市では平成22年、「相生市民の住みよい環境をまもる条例」を改正し、空地空家対策の規定を加えた。この条例は環境保護・消費者

保護等の目的で制定されたものであるが、条例第4節(空地及び空家の管理)、具体的には第34条(空地及び空家の管理者の義務)・第35条(勧告等)を加筆した。第34条の規定により土地所有者ならびに土地管理者に適正管理を義務付けられ、第34条の規定を違反した所有者・管理者には是正勧告ならびに指導を行えるようになった。また、自治会から行政に対応依頼を行えるよう窓口相談整備を行い、所管の環境課のみならず、都市整備課、税務課など所管を越えた体制となった。結果的に、個人情報保護の観点から土地所有者情報を土地管理の側面だけで調査することには法的課題があることから、税務調査の目的から所有者情報の調査が可能となった。



相生市視察

め、地方自治体が主体的に事業処理を行うことには限界がある。事実、相生市の近隣自治体である三木市では危険な空家に対する行政代執行を制度化したものの、実施には県の許可を含める同意事項が多く、速やかに対処できるかは現状では未知数である。当市としては、行政代執行まで踏み込む前に、相生市が取り組んでいる所管を越えた協働施策事業の検討や土地所有者・管理者への勧告・是正などの取り組みを通じて、市民に空地空家問題への理解を深めることが先決ではないだろうかと感じた。

第三セクター支援事業について (兵庫県加西市)

第三セクター「北条鉄道」は昭和59年に設立され、兵庫県小野市の粟生駅から加西市の北条町駅間13.7kmを結ぶ。のと同様、2自治体間を運行している。

加西市・小野市の観光産業は市内の中核的産業ではないことから、多くの観光客の鉄道利用は望めず、市民利用・通勤通学客を主な乗車客として捉えている。車両はワンマンで、多くが無人駅であるが、違う視点で言えば駅長が存在しない。そこで非常勤のボランティア駅長を公募し、市民の理解度向上に努めている。ボランティア駅長の例としては、住職駅長による住民相談窓口の設置等を行った。また、クリスマス時期のサンタ列車、夏休みのかぶと虫列車の運行

など、親子の乗車を広げるイベント列車の運行を行っている。さらに、駅舎や車両に1件5万円の企業広告を募集。ただし、費用対効果は期待ができず、実質的には北条鉄道支援や「市玄関口の表札」という位置付けである。事業開始1年目で15件(75万円)の収益があった。枕木交換を実施する自主財源の捻出が厳しく、1口4,500円で「枕木応援団」を募集し、年間300口以上、100万円を超えるサポートが集まり、枕木交換の費用に充当されている。また、市の財政支援により、市広報誌に無料切符を掲載する事業を2回行い、800人の乗車があったとの報告もあった。市民利用の拡充を目的にさまざまな事業を展開しており、運賃収入・営業利益がいずれも8%・6%の増収増益を達成している。市民利用の拡充が目的であり、副社



加西市視察

平成25年度第2回定例会採決結果一覧表 (賛否が分かれたもの)

議案名	審議結果	高橋正浩	山崎智之	山添和良	佐藤喜典	木下敬夫	岡部俊行	磯貝和典	久保吉彦	杉木勉	荒川一義	松本精一	伊藤厚子	垣内武司	永崎陽	大林吉正	石川邦彦	桂徹男	高僧弘	中西庸介	今田勇雄	木下孝輝
請願第2号 治安維持法犠牲者への国家賠償を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第3号 年金2.5%削減中止を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第4号 「消費税増税の実施中止」の意見書提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第5号 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書についての請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第6号 TPPへの参加に反対する請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

○:賛成 ×:反対 退:退席 ※議長は採決に加わりません。